

NUTANIX

Run Anything Anywhere.

脱VMwareの決定版

統合プラットフォームで、場所を問わずあらゆるアプリとデータを管理

Nutanixに 移行する理由

- ✔ シンプルだから労力1/10、**完全新世代**の統合アーキテクチャ
- ✔ 軍用としても鍛えられた強固な**セキュリティ**
- ✔ **徹底的に省力化**された運用管理 & 業界最高レベルのサポート
- ✔ Kubernetes・AIなど最新トレンドも**統合済みの先進性**



Nutanix認定ノード

※ アルファベット順



ハイブリッドクラウド



周辺ソリューション



Nutanixが提唱する「Run Anything Anywhere」に対し、マルチベンダーの総合ディストリビューターであるDISは、真のハイブリッドクラウドを実現するための、プラットフォームやクラウド等のサービスを提供します。DISが提供するNutanix導入支援サービスで、導入作業にかかるお客様負担を最小限にいたします。

DISをご選択 いただく理由

2025 APJ Distributor of the Year 受賞!!

Nutanixアジアパシフィック地域 年間最優秀ディストリビューター

ダイワボウ情報システムは、Nutanix認定ディストリビューターです。

DISが提供する「Nutanix導入支援サービス」

基本メニュー

Foundation (ファウンデーション) 作業



DIS
基本
メニュー

DIS
オプション
メニュー

お客様
対応範囲

ハイパーバイザー(AHVもしくはVMwareESXi)を初期設定したうえで出荷いたします。

Foundation作業内容

- シリアル情報取得
- ハイパーバイザーのインストール作業
- Foundation作業に伴うネットワーク設定、Nutanixクラスタ作成
- Nutanix Cluster Check (NCC) ツールによるヘルスチェック

NCCツールで初期不良チェックもできるので安心!

オプションメニュー

3 Nutanix拡張サービスアラカルト

その他、各種サービスメニューをご用意しております。

1 詳細設計サービス



構築作業パラメータシート作成のためのヒアリング、工程管理サービスです。

- 【内容】
- ・ヒアリング支援
 - ・パラメータシート記入支援
 - ・全体工程管理

2 Prism Advanced サービス

Prism追加設定サービス。AHVの仮想ネットワークやスケジュールスナップショット、AsyncDRの設定をいたします。

Prism Advanced	Prism Element	アラート設定 SMTP、SNMP Pulse設定 ユーザー追加(ローカルユーザー) ストレージコンテナ設定
	AHVネットワーク	仮想スイッチ設定 VLAN作成 ネットワーク疎通確認
	Data Protection	リモートサイトの作成 Protection Domainの作成 Data Protection動作確認

ベースメニュー	詳細設計	事前ヒアリング パラメータシート作成 工程管理
	Foundation	シリアル情報取得 ハイパーバイザーのインストール作業 CVMのインストール作業 Foundation作業に伴うネットワーク設定 Nutanixクラスタ作成(AHVのみ) Nutanix Cluster Check(NCC)ツールによるヘルスチェック
Prism Advanced	Prism Element	アラート設定 SMTP、SNMP Pulse設定 ユーザー追加(ローカルユーザー) ストレージコンテナ設定
	AHVネットワーク Data Protection	仮想スイッチ設定 VLAN作成 ネットワーク疎通確認 リモートサイトの作成 Protection Domainの作成 Data Protection動作確認
Nutanix 拡張メニュー	Prism Central	Prism Central VMのデプロイ アラート設定(SMTP,SNMP,Pulse) ライセンス適用
	Files	FSVMのデプロイ プロトコル有効化(SMB、NFS) 共有フォルダの作成 アクセス確認 File Analytics設定 (VMのデプロイ、ネットワーク設定)
	Volumes	Internal Volume Group の作成と 対象マシンへの接続 External Volume Groupの作成と 対象マシンへの接続

VMware vSphere 追加設定	vCenter Serverのデプロイ 仮想スイッチ設定 HA、DRS設定	
	Move VMのデプロイ テスト仮想マシン移行作業 テスト仮想マシン起動確認 Move使用方法説明	
Nutanix 拡張メニュー	HCI用ネットワークスイッチ	管理IPアドレス設定 ポート設定 VLAN作成 MC-LAG設定(vPC、IRF)
	管理用ネットワークスイッチ	管理IPアドレス設定 ポート設定 VLAN作成
仮想マシン	OSインストール(Windows、Linux) OS Update 起動確認、ネットワーク疎通確認	
	既存クラスタへのノード追加	事前ヒアリング パラメータシート作成 追加ノードのラッキング、LANケーブリング 追加ノード起動確認 ノード追加作業 Nutanix Cluster Check(NCC) ツールによるヘルスチェック ライセンス再適用
現地作業	ラッキング LANケーブリング (ラック内配線のみ、ケーブルタグ付け対象外) 機器起動確認 ネットワーク疎通確認	

■対象機器 Nutanix NXシリーズ、HPE ProLiant DXシリーズ、Cisco Compute Hyperconverged with Nutanix (HCI M6, M7 Platforms)

注意事項(共通)

※作業範囲はパラメータシートの内容といたします。 ※構築時、購入された製品情報を使用して、メーカーへ問い合わせる場合があります。 ※弊社キッティングセンターで設定を実施いたします。

※以下の作業は対象外となります。

プロジェクト管理、サイジング、基本設計などの設計全般(仮想環境、ネットワーク)、既存ネットワーク環境の設定作業、データ移行、性能負荷テスト、運用に沿ったユーザーへの詳細な教育、運用手順書の作成

※Nutanixサポート対応 Nutanix ソフトウェア(AOS) : サポート対応を受けるため、エンドユーザー様でアカウント登録が別途必要となります。またエンドユーザー様にてサポートケースをあげていただく場合が御座います。

現地作業依頼時の注意事項

1). 現地設置作業が必要な場合は、個別見積りもとなります。 2). 設置先のエリアにより別途出張費(個別見積り対応)が加算されます。 3). 作業依頼書と合わせてラック図(サーバラック内のどの位置にラッキングするか、ケーブル配線はどうするか)のご提供をお願いいたします。 4). 現地作業につきましてはお客様都合による待機時間が発生する場合、別途費用のご請求が発生致しますのでご注意ください。 5). 新規導入機器の手前までLANケーブルおよび電源タップが配線されていることと致します。 6). ケーブリングについて単純な結線を想定しており、ケーブルへのタグ取付けおよびケーブル長の調整等は含まれません。 7). 電源/電源TAP/ケーブル類/動作確認用PCは用意されていることを前提としております。弊社での部材用意はございません。 8). 既存機に対する作業(移動、清掃、廃棄、動作チェック、データ移行等)や、工事関連作業(モジュール処理、電源工事、LAN配線工事、ラック固定工事等)は作業外とさせていただきます。 9). 現場で機器不良が発生し、再訪問が必要になった場合は、再訪問費用(再訪問料金+出張費)が必要となります。

Cisco Compute Hyperconverged with Nutanix 作業条件について

1). 構築期間中のメーカーへの問い合わせ対応について 1-1). 構築期間中にHW保守およびIntersightのサポート対応が受けられる状態であることを前提とします。 1-2). HW保守およびIntersightに使用するシスコアカウントは同一であることを前提とします(HW保守およびIntersightのシスコアカウントをそれぞれ分ける場合は、別途個別での調整が必要となります)。 2). エンドユーザー様側で事前に用意して頂くアカウント 2-1). シスコアカウント(旧Cisco.com ID) : Intersightの引き渡し時に、エンドユーザー様のシスコアカウントを登録いたします。 2-2). Virtual Account (スマートアカウントのサブアカウント) : Intersightライセンスが紐づけられているVirtual Accountが必要となります。 3). Foundation作業期間までにIntersightライセンスのトークン発行ができる状態であることを前提としております。 4). クラスタへの拡張ノードの追加作業は現時点で対応不可となります。 5). Cisco Compute Hyperconverged with Nutanixの接続先はインターネット環境を想定しています(Dark Site環境の作業は将来対応予定、現時点では対応不可となります)。 6). Intersightを利用しないFabric Interconnect 構成の場合は、個別見積りもとなります。